

掛川市中小企業振興計画（案）に関するパブリックコメント

- 1 実施期間 令和4年2月9日（水）～3月10日（木）
- 2 意見数 27件（3人）
- 3 意見の概要

No.	パブリックコメントによる意見	市の考え
1	アンケート結果がプロジェクト活動に強く反映されている様に見えませんが、企業が今後取り組みたいと考えている上位5項目は反映すべきだと思います。	人材育成確保支援や販路開拓支援、支援団体の機能及び連携強化など、10の基本的施策において推進していきたいと考えています。また、重点プロジェクトを推進し、企業支援に努めます。
2	プロジェクト内容はチャレンジ項目が乏しく、現状組織・現状人員で出来る範囲をリストしたに留まっているように見えます。	新たに取り組む事業を含め、商工団体や金融機関などの中小企業支援団体と協力しながら10の基本施策に取り組みます。
3	プロジェクト目標が実施する件数であり、基本的な考え方である「自立した経営やBCP」となっていません。実施件数で目標を達成しても、5年後に課題項目が改善され、自立した経営が進んでいるのか評価につながりにくいと考えます。	事例集を作成し水平展開することや積極的な経営相談窓口の利用、新商品開発支援など、目標を設定し取り組むことで、意欲ある中小企業の成長及び持続的発展につなげていただきたいと思います。実施件数の分だけ、中小企業が目指すべき道へ進んでいると考えます。
4	P1 はじめにの19行目～23行目の「各社が提供する製品などについて、他社に比べて高い品質の（…省略…）高い競争力を保持することになると考えます。」について、企業として目指すべきところと思いますが、中小企業ではこのような考え方だけでは“道しるべ”には難しいと思います。	成長していくための考え方を記載させていただきました。道しるべとしたのは、各企業によってビジョンは異なりますので、アフターコロナにおける新たなビジョンの確立に本計画が役立つことを期待して記載したものです。
5	P26地域プラットフォームは存在自体も周知されておらず、活用されることもない。事務局を周知し、事業内容や期待される効果も情報発信してもらいたい。	地域プラットフォームは周知するものではなく、支援機関の連携を表すものです。各支援機関の連携を図っていきます。

No.	パブリックコメントによる意見	市の考え
6	P27 (2) 個社支援から面的支援へに記載の「お茶を軸とした6次産業化」について、事業取り扱い金額の減少著しく、全体金額からみても少ないお茶に何故ここまでこだわるのか教えてもらいたい。将来を考えた場合に何が掛川としてよいのかをブランド作りを別に検討した方が良いと思います。	ご指摘のとおり、掛川市の特産品はお茶だけではありません。イチゴやメロン等を含めた地域全体を見据えた支援が必要と考えます。
7	P29 施策の方向性について、企業は個々に企業理念や経営、課題が異なることから、課題にマッチした支援を迫記したらどうか。	企業理念は、各企業によって異なるため、本計画がアフターコロナにおける新たなビジョンの確立に役立つことを期待して計画の目的の一つに記載しています。各支援機関は、企業の実情に応じた相談や課題解決策の支援に取り組んでいます。基本施策10の支援団体の機能及び連携強化により、周知していきます
8	P29「4. 小規模企業の経営革新促進」について、市内小規模企業に向き課題や将来の事業について一緒に考え話し合いをし、マッチングの可能性を含め提案することを追記したらどうか。	掛川商工会議所や掛川みなみ商工会、金融機関など支援機関は、相談事業の中で巡回指導を行っています。基本施策10の支援団体の機能及び連携強化により、周知していきます。
9	P30 具体的支援「4. コワーキングスペースの運営支援」について、大都市でコワーキングスペースは意味があると思いますが、掛川ではあまり意味がないのではないのでしょうか。感染症を考えれば、オフィスを共有することに疑問です。掛川ではオフィス可能な空家等を紹介することも考えたらどうでしょうか。	創業しやすい環境整備のために必要と考えます。
10	P31 具体的施策「1. 掛川市内での経済循環創出支援」について、商談会は、費用が掛かる割に参加企業のメリットは低い。受注機会を市内企業から得るためには、それぞれの長所や欠点を事前に主催者側が企業と面談し、マッチングの機会を案内することが効果的だと思います。	市内企業に受注機会を設けることが目的です。企業マッチングに関する事業は、中小企業支援機関で実施をしています。

No.	パブリックコメントによる意見	市の考え
11	P 31 具体策施策について、掛川ブランドの向上による販路拡大を追加し、ブランディングによる掛川の知名度を上げるための具体策を追加したらどうか。	ふるさと納税の返礼品（商品）には、宿泊や体験プログラムなども含まれるため、地場産業を活用したPRにより市のイメージ向上と販路拡大を支援します。
12	P 32 具体的施策「5. 外国人材受入れ支援」について、外国人家族を含めた内容にしたらどうか。	外国人世帯への日本語教室は、多文化共生推進プランで位置付けています。
13	P 32 具体的施策に「報徳教育による人財の育成」を追加し、掛川市と関わりの深い報徳思想の実践教育を追加したらどうか。	報徳の教えについては、人権教育や道徳教育の中で掛川らしさを生かしたかけがわ道徳や平和の大切さを学ぶ活動として位置づけています。また、企業への人材育成も支援したいと考えます。
14	P 33 施策の方向性について、個々の廃業予定の課題を明らかにすることを追加したらどうか。また、具体的施策「1. 事業承継支援体制の整備」に廃業予定企業の事業承継の課題解決の検討を追加したらどうか。	廃業予定の理由は様々なため、具体的施策1～4により、掛川商工会議所と掛川みなみ商工会が窓口となり個別に支援します。
15	P 36 具体的施策「1. 施策説明会の開催」について、必要に応じて企業訪問して説明をしたらどうか。	個別訪問による対応は難しいと考えます。ホームページによる周知や支援機関と連携した情報発信に努めます。
16	P 36 具体的施策「4. 「掛川市で活躍する中小企業の事例集」の作成」について、企業の成功例から学ぶことよりも失敗例から学ぶことの方が遥かに大きいです。全国からの失敗事例を業種別に作成したらどうか。	企業の失敗事例だけでは、マイナスイメージしかなく企業の協力は得られないと考えます。成功事例を広く周知することにより、企業はもとより学生等への企業イメージのアップにもつながり、人材確保にも役立つと考えています。
17	P 37 具体的施策「2. 教育機関との人材育成連携の推進」の「市内小中学校の教育機関と連携」について、小中学校は行事が多く今でさえ教員の労働問題の中、児童、生徒、教員ともに連携は本業への影響が出るため控えた方がよいと思います。	中学生や高校生の職業体験は非常に重要なものと考えます。また、地元の企業への就職にもつながると考えますので、推進していきたいと考えます。

No.	パブリックコメントによる意見	市の考え
18	P37 具体的施策「3.産学官による「掛川茶」の効能研究」について、なぜ、掛川茶に拘るのでしょうか。ブランディングを広く検討した方が良いと思います。	お茶は、掛川市の重要な産業のひとつと考えますが、市内には、製造業やサービス業、農業と多くの産業がありますので、記載について見直しをしました。お茶に関する事項は、掛川茶振興計画により推進していきます。
19	P39 重点プロジェクト②について、各中小企業支援団体が連携して市とともに企業訪問し、積極的な利用促進を図ったらどうか。	掛川商工会議所・掛川みなみ商工会は、必要に応じて巡回指導を実施しています。市や中小企業支援団体が連携して、利用促進を図っていきます。
20	P39 重点プロジェクト③について、コンサートや掛川城など非日常を楽しむことができます。掛川の知名度を上げるためのブランディングに取り組んだらどうか。	掛川の歴史や文化も大事な知の利と考えます。ふるさと納税返礼品には、宿泊や体験プログラムなどのサービスも含まれますので、観光産業と連携し掛川の魅力を発信していきます。
21	P40 重点プロジェクト④について、報徳思想教育による企業経営のあり方を学ぶ機会の提供を追加し、目標を設定したらどうか。	子どもへの教育に関する報徳の教えについては、人権教育や道徳教育の中で掛川らしさを生かしたかけがえのない道徳や平和の大切さを学ぶ活動として位置づけています。企業理念は、企業により異なりますので、ここでは、キャリア教育の機会を設け、望ましい勤労観や職業観を育むとともに、地元企業の特徴を知り、市内企業に愛着をもつことを重点に考えています。
22	P40 重点プロジェクト⑤について、大学生等の知りたい情報と企業のPRしたい内容のマッチングを追加したらどうか。	学生等の志望動機や企業の必要な人材はそれぞれ異なるため、インターネットやインターンシップなど、学生等と企業をつなぐの場をつくることによって、学生等の就職支援と企業の人材確保が進むよう、関係機関との連携を強化していきたいと考えています。
23	全般・総合計画との連動について、本計画との連動が重要と思われます。総合計画では、ポストコロナをかなり意識した内容となっており、本計画においてもそうした主旨の文言があるが、具体的な施策に落とし込んでいないように見受けられます。「デジタル化の浸透」等を推進していくための工夫が計画全般に必要なかと思いますがいかがでしょうか。	総合計画との整合性を図ります。デジタル化についてですが、基本施策1のキャッシュレス対応や基本施策3のふるさと納税によるECサイトの活用、基本施策4の就職支援サイトの活用など、施策ごとに推進していきます。

No.	パブリックコメントによる意見	市の考え
24	<p>目標設定について 重点プロジェクトについては目標が設定されているものの、計画全体として目標が設定されていません。本計画が上手く実現された際、どの指標がどの程度の数値になっていけば理想なのかを考え、設定できるとよいのではないのでしょうか。 現状重点プロジェクトのアウトプット指標しかないため、なんらかのアウトカム指標を設定することを推奨いたします。</p>	<p>計画の目的は、基本的施策の具現化とアフターコロナにおける新たなビジョンの確立です。掛川市は、多種多様な企業が集積しておりますので、計画全体の数値目標の設定は難しいと考えます。本計画の策定により、アフターコロナにおける新たなビジョンの確立に役立てていただきたいと思います。また、重点プロジェクトを設定することにより、事業を推進していきたいと考えます。</p>
25	<p>行政手続きのデジタル化について 市が単独で企業の生産性向上に貢献できることとして、市の中小企業関連手続きのデジタル化・効率化があるかと存じます。 行政手続きの電子化・オンライン化・脱書類を推進し、計画中に取組や実現時期を明記いただければと存じます。</p>	<p>中小企業のデジタル化については、市や県、国の補助金等の情報発信に努め、推進していきたいと考えます。行政手続きのデジタル化については、取り組んでいきたいと考えています。しかし、中小企業の振興に関する施策を推進するための計画であるため、行政のデジタル化の記載は考えておりません。</p>
26	<p>商工業のデジタル化について 総合計画の「掛川にしごとをつくる商工業の発展」において、「商工業のデジタル化の推進」の記載がありますが、本計画にはその具体的な施策、事業がないように見受けられます。中小企業振興にあたり、非常に重要な点かと存じますので、デジタル人材の育成について明記してはいかがでしょうか。</p>	<p>総合計画に記載がありますように、本計画にも記載し、デジタルを活用できる人材の育成等を促していきます。</p>
27	<p>働きやすい環境づくりについて 総合計画において、「男女共同参画によるワーク・ライフ・バランスの推進」が挙げられています。誰もが働きやすい環境づくりの第一歩として、女性活躍推進またはワーク・ライフ・バランス推進について具体的な施策の方向性や事業案等を明記してはいかがでしょうか。</p>	<p>ワーク・ライフ・バランスの推進は「男女共同参画行動計画」の視点で位置付け推進しています。本計画では、生産性向上や働き方改革につながる人材育成により推進していきます。</p>